

# 黒部市国際文化センター

## 施設について

- 名称 黒部市国際文化センター
- 所在地 富山県黒部市三日市20番地
- 発注者 黒部市
- 設計者 基本設計、実施設計 : (株)新居千秋都市建築設計  
音響コンサルティング : (株)永田音響設計  
劇場コンサルティング : (株)シアターワークショップ  
管理運営計画策定 : (財)日本建築センター
- 監理者 (株)新居千秋都市建築設計
- 施工者 (主体工事・電機設備・空調衛生・吊物・音響・照明・展示など)  
排水路整備 : 朝倉建設(株)  
敷地造成工事 : 中山工業(株)  
建設工事  
建築本体工事 : (株)フジタ北陸支店、桜井建設(株)、  
(株)長谷川工務店共同企業体  
電気設備工事 : 北陸電気工事(株)黒部営業所、(株)中西電気、  
(有)米屋電気商会共同企業体  
空調給排水衛生設備工事 : (株)朝日工業北陸営業所、  
吉枝工業(株)、(有)大谷配管工業所共同企業体  
舞台音響設備工事 : 不二音響(株)名古屋営業所  
舞台照明設備工事 : 丸茂電気(株)名古屋営業所  
舞台機構設備工事 : 森平舞台機構(株)  
建設付帯工事  
本体工事 : (株)フジタ北陸支店、桜井建設(株)、  
(株)長谷川工務店共同企業体  
給排水衛生設備工事 : (有)大谷配管工業所  
さく井工事 : 吉枝工業(株)  
電気設備工事 : YKKエンジニアリング  
植栽工事 : 関吉万葉園、中坪造園  
駐車場工事 : 共和土木(株)
- 設計期間 基本設計 : 1992年10月～1993年3月  
実施設計 : 1993年3月～1994年3月
- 施工期間 排水路設備 : 1993年7月～1993年9月  
敷地造成工事 : 1993年8月～1993年12月  
建設本体工事 : 1994年3月～1995年9月  
建設付帯工事 : 1994年9月～1995年10月
- 総工費 65.9億円

- 敷地面積 37,972m<sup>2</sup>
- 建築面積 6,736m<sup>2</sup>
- 延べ面積 8,886m<sup>2</sup>
- 構造・階数 本体：地下1階 地上4階  
鉄筋コンクリート造 一部鉄骨鉄筋コンクリート造  
能舞台：地上1階 鉄筋コンクリート造  
その他：屋根／鉄骨造（劇場、能舞台客席）

●仕上げ（内装・屋根・外壁・外構など）

外部仕上げ

屋根：改質アスファルト露出断熱工法、カラーアルミ厚0.7、  
ダンツキルーフ182

外壁：フッコーマイスタッコこて塗り押え、コンクリート打  
ち放しフッ素樹脂塗装吹き付け

建具：アルミカーテンウォール・構造体スチールFB厚  
28×150、鋼製建具ウレタンメタリック焼き付け

その他：建物金具、トップライトアクリル断熱防露、オペレーター

内部仕上げ

大ホール

床：チーク縁甲板厚15染色ウレタンCL

劇場椅子：ならウレタンCL、布地アスワン

壁：反射面→コンクリート小たたき

：吸収面→グラスウール厚50、有孔FGボード厚9φ

@15の上50角集成材厚100染色ウレタンCL

：反射吸音可動面→90φ集成材@200、電動カーテン

天井：LGS下地、FGボード厚8+FGボード厚6+PB厚12の上  
クロス張りFP

展示室1,2

床：チーク縁甲板厚15染色ウレタンCL

壁：コンクリート打放し、可動展示パネル=W4240×  
H4325合板厚9クロス張りFP、

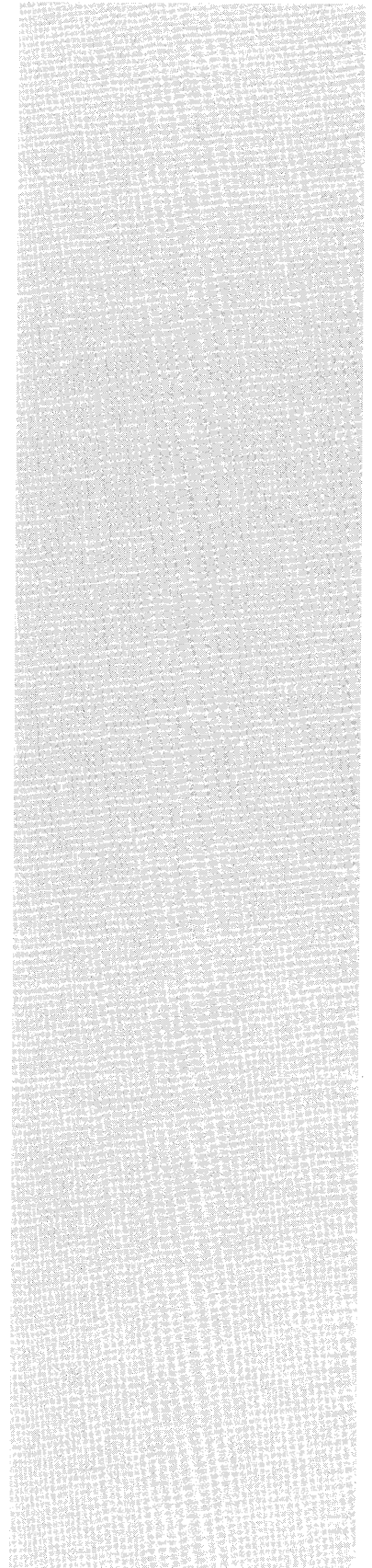
固定展示パネル=W4260×H8100合板厚24クロス張り  
FP

天井：トップライト→コンクリートAEP、木製ルーバー、PB  
厚9パテ処理AEP

マルチホール

床：チーク縁甲板厚15染色ウレタンCL

壁：コンクリート打放し、グラスウール厚50、有孔FGボ



ード厚8,9 有孔しな合板厚5.5,8 @20染色ウレタン  
CL、250インチスクリーン・28インチモニターTV35台

天井 : グラスウール厚50敷き、有孔FGボード厚8,9  
@15AEP

エントランスロビー外

床 : 大理石本磨きカリッツアカプリ

壁 : コンクリート打放し、スタッコこて塗り押さえ

天井 : PB厚9パテ処理AEP

造作家具: しな合板染色ウレタンCL

サイン、掲示ケース: DPGガラスの上シルク印刷

能舞台 (鉄筋コンクリート造)

舞台床 : スプルス厚40×幅420片面無地柁平

壁 : 桧本実厚15

天井 : スプルス本実厚15

電気設備

受電設備: 高圧受電3φ3W6000V

変圧器容量: 1600kw

予備電源 : ディーゼル発電機3φ3w4000v

空調設備

暖・冷房方式: 単一ダクト、AHU、FCU、マルチヒートポンプエアコン

熱源 : 特A重油

冷凍機 : 直焚吸水式冷凍機

衛生設備

給水 : 直結、加圧給水

給湯 : 局所式、中央式

排水 : 自然流下、ポンプアップ

消火 : 消火器、屋内消火栓、  
スプリンクラー、移動式粉末消火器

排煙 : 自然排煙、機械排煙

昇降機等: 油圧エレベーター11人乗り45m/分 1基、  
ダムウェーター1基

●都市計画用途指定・制限 地域地区指定なし

## その他

### ●基本構想・基本計画の内容

21世紀に向け、地域の芸術、文化振興と国際社会に対応した国際交流盛んなまちづくりを目指すため、地域住民が世界の人々との交流や芸術文化を通じて国際理解を深め、国際感覚を高めることができる国際交流の中核施設として国際文化センター建設が計画された。

基本構想→リーディングプロジェクト「国際交流盛んなまちづくり」推進計画策定委員会の提言を基に作成した。

基本計画→基本構想を受けて市で作成した基本計画を基に、設計者に選定された(株)新居千秋都市建築設計が、計画の見直しをし、基本設計、実施設計に入り今日に至った。

●建設資金の出所 地域総合整備事業債、県まちづくり総合支援事業補助金、一般財源

●建築家の選定方法 選定委員会／プロポーサル

●運営主体 財団法人黒部市国際文化センター

●施設建設から運営までの住民参加について

「ハードの都市施設を立派に造ってみても、その運営に当たって地域社会の人々が自ら参加し、利用することがなければ、その施設が長く生き続けることはできない。」を基本として構想の段階から地域住民の意見や要望を取り入れながら、運営プログラムづくりなどのソフトと同時並行で建設を進めてきた。

- ・平成5年7月より国際文化センター設備運営企画会議を設置（市内のイベント企画経験者、音楽家、劇団員、舞踏家や劇場コンサル、設計者等専門家）
- ・平成6年6月より国際文化センター施設運営企画会議を発展的に解消し、そのメンバーを中心とした運営委員会を財団の中の組織として設置
- ・平成7年7月よりコラーレの芸術文化活動を支えるサポーターとして、また将来企画運営にまで参画できる人材育成を目的とした黒部文化倶楽部を設置
- ・平成8年11月3日よりコラーレ倶楽部として正式に組織化し、会員拡大を図る。